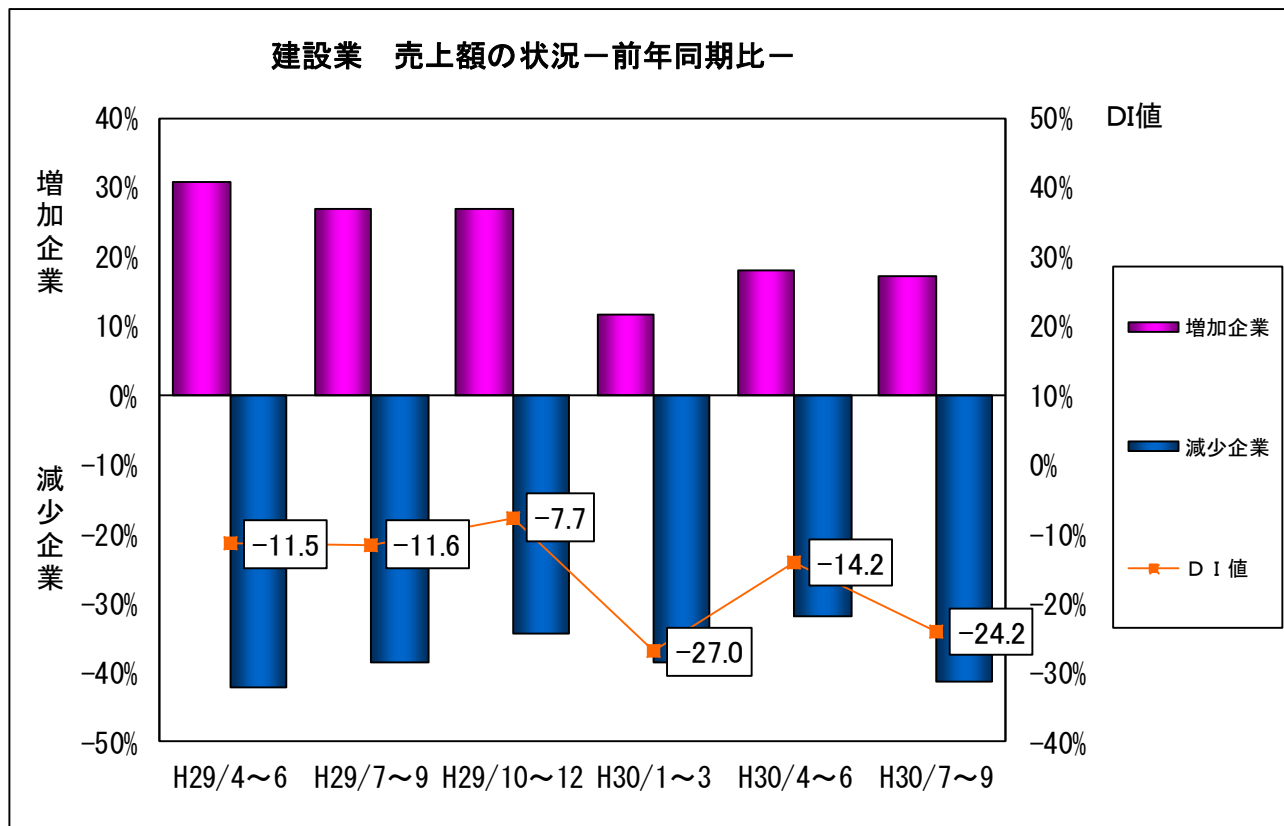


(2) 主要項目の概況（前年同期比）

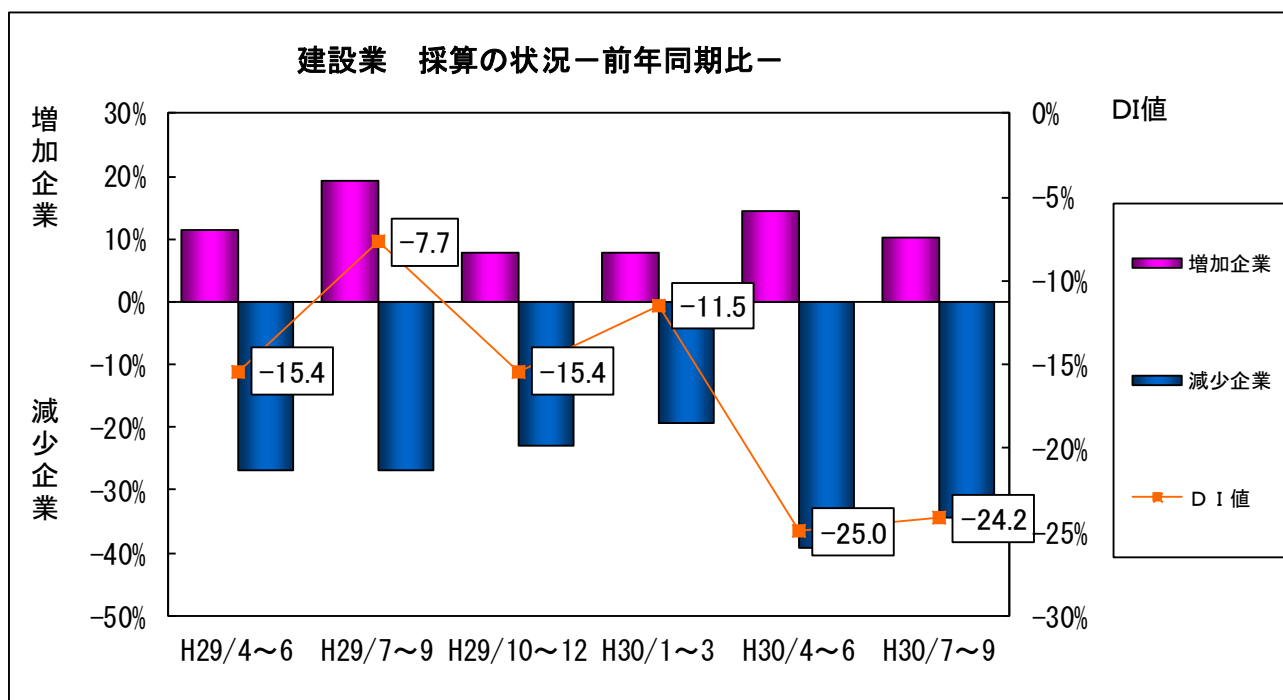
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額DI値は▲24.2。前期の▲14.2から10ポイント下降した。来期見通しは0.0と上昇の見込み。



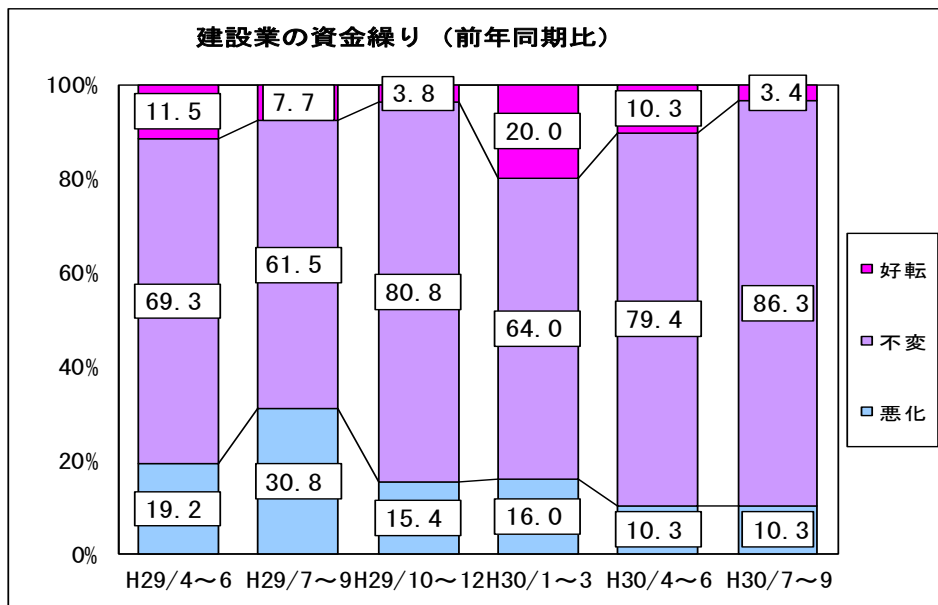
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、▲24.2。前期の▲25.0から0.8ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲6.9とやや持ち直す見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は▲6.9。前期の0.0から6.9ポイント下降した。来期見通しは、3.5と持ち直す見込み。

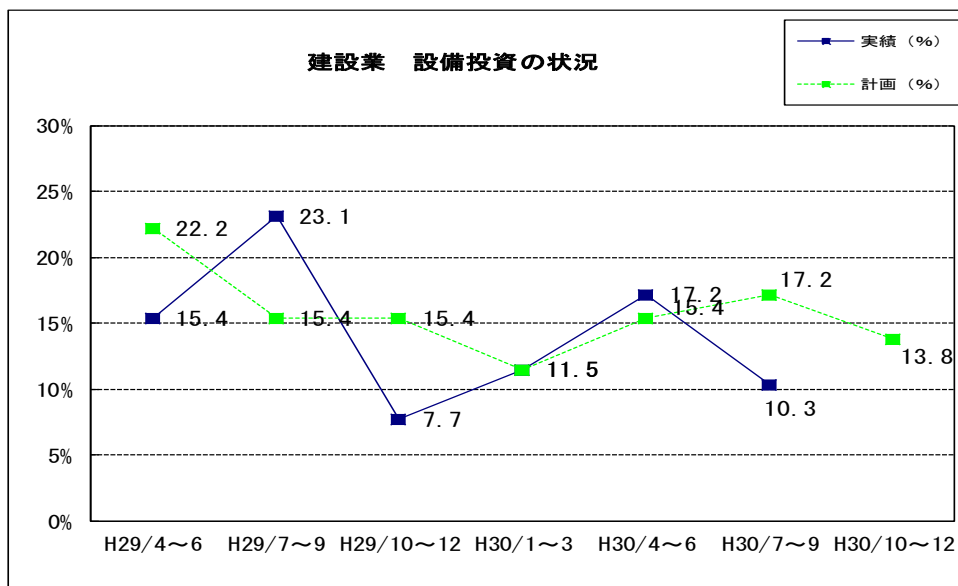


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	5	0	0	2	1	0	0	0	2	24
(%)	17.2	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	82.8
今期実施 (実数)	3	0	0	2	0	1	0	0	0	26
(%)	10.3	0	0	66.7	0	33.3	0.0	0.0	0.0	89.7
来期計画 (実数)	4	0	0	2	1	1	0	0	0	25
(%)	13.8	0	0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	86.2

今期設備投資を実施した企業は3社（10.3%）。前期（平成30年4～6月期）の実施企業5社（17.2%）より減少。来期は4社（13.8%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 16.7%→今期 36.4%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 33.3%→今期 36.4%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 37.5%→今期 31.8%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 25.0%→今期 22.7%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 12.5%→今期 18.2%)

となっている。

